

2023 年徳島市阿波おどりの 経済波及効果

資料編

2024 年 3 月

目次

I 部. 阿波おどり開催による最終需要増加額	1
1. 来場者の交通費	1
1-1. 徳島県内居住者の交通費	1
1-2. 県外来場者の交通費	4
1-3. 駐車代	10
1-4. 訪日外国人の交通費	12
2. 来場者の宿泊費	13
2-1. 国内居住者の宿泊者数	13
2-2. 宿泊単価と宿泊費(国内居住者と訪日外国人)	14
3. 来場者の消費支出	16
4. 連員の支出	18
II 部. 産業連関表・経済波及効果	19
1. 産業連関表	19
1-1. 最終需要増加額の産業への格付け	19
1-2. 県内自給率の調整	21
2. 経済波及効果	23
2-1. 経済波及効果	23
2-2. 就業機会誘発数と雇用機会誘発数	25
用語説明	27
参考文献	28

I 部. 阿波おどり開催による最終需要増加額

ここでは、対象期間を8月12日と13日の二日間と8月12日から14日までの三日間として、最終需要増額の一部である、来場者の交通費、駐車場代、宿泊費、観光消費の推計方法について詳述する。

1. 来場者の交通費

来場者の交通費は、徳島市阿波おどりの開催によって新たに発生した需要額（最終需要増加額）であるが、公表データが存在しないため、一定の仮定の下で推計する必要がある。

以下では、徳島県内居住者と県外居住者に分けて、国内居住者の徳島市までの交通費の推計方法と結果を示す。徳島県内居住者と県外居住者の交通費の推計値は図表 1-1 と図表 1-3 に示す通りである。

1-1. 徳島県内居住者の交通費

(a) 交通費の推計方法

来場者の交通費は、徳島市阿波おどりの開催によって新たに発生した需要額（最終需要額）であり、徳島県内居住者の場合は、県内市町村から徳島市内との往復の交通費を推計する。徳島県内居住者の交通費の推計方法は以下の通りである¹。

- ①各市町村から徳島市への標準的な交通手段として、バス、鉄道、自家用車を想定する。徳島市内居住者の移動は、さらにタクシーと徒歩等（徒歩や自転車）を想定し、また、自家用車には送迎も含まれる。
- ②各市町村からの標準的な交通手段別の一人当たりの片道交通費単価を設定する。なお、運賃に関する情報は関係機関の Web サイト等から情報を得たものを用いている。
- ③県内の各市町村からの徳島市への移動は、複数の交通手段が想定されるため、交通費単価等の情報から、来場者の交通手段の選択割合を設定する。
- ④選択割合に「モバイル空間統計[®]」²から得られた市町村別来場者数を乗じることで、市町村別・交通手段別来場者数を算出する。
- ⑤最後に、交通手段別片道交通費単価に、交通手段別来場者数を乗じることで、市町村別・交通手段別交通費を算出する。なお、県内居住者の移動は、徳島県内のみでの交通移動なので、（県外からの交通費とは異なり）往復交通費を算出している。

(b) 標準的な交通手段

¹交通費の推計方法は小長谷・前川編(2012)第11章等を参考にしている。

²「モバイル空間統計」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

図表 1-2 には、市町村別の標準的な交通手段とその選択割合および片道交通費単価を示している。たとえば、徳島市内居住者の場合、交通手段と選択割合は、それぞれ鉄道 20%、バス 10%、自家用車 35%、タクシー 5%、徒歩等 30%と仮定している。

自家用車での移動については、2人乗車するものとして、交通費単価には、往復の有料道路料金を半分にした金額を用いている。有料道路を利用する必要のない市町村の場合は、単価をゼロとしている。阿波おどりは夏休みに家族で見物に行くことが想定され、夫婦と子どもの3人家族が移動する場合は、一人当たり料金は1/3倍にすべきところであるが、上述の通り、「モバイル空間統計」では14歳以下の子どもは把握されていないので上記のように扱い、タクシーも同様に2人で乗車したものとしている。また、自家用車のガソリン代も、2名で乗車したものとして、ガソリン価格、平均燃費、走行距離³から算出される各市町村からの概算の往復分を半分にした金額を計上する。

(c) 交通手段別交通費

徳島県内居住者の阿波おどり会場までの交通費の推計値は、図表 1-1 の通り、8月12日は1,576万円、8月13日は1,659万円、8月14日は798万円になると見込まれる。

図表 1-1. 徳島県内居住者の交通手段別交通費（推計）

	県内来場者交通費(千円)				
	8月12日	8月13日	8月14日	12-13日	12-14日
飛行機	-	-	-	-	-
バス	5,765	5,920	2,779	11,685	14,464
鉄道	6,049	6,512	3,150	12,561	15,711
有料道路	682	865	347	1,547	1,894
フェリー	-	-	-	-	-
タクシー	1,671	1,593	904	3,264	4,169
ガソリン	1,590	1,703	801	3,293	4,094
合計	15,756	16,594	7,981	32,351	40,331

³ ガソリン代は（走行距離／平均燃費）×ガソリン単価で算出した。総務省「家計調査」によれば徳島市の2023年8月のガソリン価格は1リットル当たり181円、国土交通省によれば、ガソリン車の平均燃費は1リットル当たり24.6km（ガソリン乗用車のJC08モード燃費平均値、令和3年度）である。走行距離は、乗用車を利用した場合の市町村の役場間の距離を用いた。

図表 1-2. 徳島県内市町村来場者の交通費（推計）

地域	市町村	交通手段選択割合					計	片道単価(円/人)					ガソリン (c)	来場者数(人)			交通費(千円)			ガソリン代(千円)			
		鉄道	バス	自家用車	タクシー	徒歩等		鉄道	バス	自家用車	タクシー	徒歩等		8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日	
		(a)					(b)					(d)			(e) = { (a) × (d) } × (b)			(f) = { (a) × (d) } × (c)					
徳島市	徳島市	0.20	0.10	0.35	0.05	0.30	1.00	230	210	0	650	0	22	25,707	24,512	13,912	5,115.7	4,877.9	2,768.5	397.2	378.7	215.0	
	鳴門市	0.20	0.30	0.50			1.00	430	470	0			60	2,151	2,479	1,141	976.6	1,125.5	518.0	129.0	148.7	68.4	
	小松島市	0.20	0.30	0.50			1.00	330	330	0			38	1,831	1,902	982	604.2	627.7	324.1	69.4	72.1	37.2	
	吉野川市	0.20	0.30	0.50			1.00	530	470	0			71	1,076	1,287	678	531.5	635.8	334.9	76.8	91.9	48.4	
	阿波市	0.50	0.00	0.50			1.00	630	0	270			132	915	1,029	394	823.5	926.1	354.6	120.8	135.9	52.0	
	勝浦町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	800	0			77	191	209	61	152.8	167.2	48.8	14.8	16.1	4.7	
	上勝町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	860	0			137	31	10	13	26.7	8.6	10.9	4.3	1.4	1.7	
	東部	佐那河内村	0.00	0.50	0.50			1.00	0	600	0			57	77	56	36	46.2	33.6	21.6	4.4	3.2	2.1
	石井町	0.20	0.30	0.50			1.00	330	330	0			43	1,353	1,320	572	446.5	435.6	188.8	58.7	57.3	24.8	
	神山町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	1,000	0			169	149	134	50	149.0	134.0	50.0	25.2	22.6	8.4	
	松茂町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	390	0			31	934	918	384	364.3	358.0	149.8	28.9	28.4	11.9	
	北島町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	320	0			31	1,431	1,472	657	457.9	471.0	210.2	44.2	45.5	20.3	
	藍住町	0.20	0.30	0.50			1.00	280	670	0			39	2,115	2,125	976	1,087.1	1,092.3	501.7	82.5	82.9	38.1	
	板野町	0.20	0.30	0.50			1.00	430	460	0			52	562	675	239	251.8	302.4	107.1	29.4	35.3	12.5	
	上板町	0.00	0.50	0.50			1.00	0	660	0			73	435	429	175	287.1	283.1	115.5	31.7	31.2	12.7	
西部	美馬市	0.40	0.00	0.60			1.00	1,493	0	450			183	294	343	179	509.8	594.8	310.4	64.6	75.4	39.4	
	三好市	0.40	0.00	0.60			1.00	2,563	0	1,080			302	124	201	78	414.9	672.5	261.0	44.9	72.9	28.3	
	つるぎ町	0.40	0.00	0.60			1.00	1,753	0	555			228	80	102	32	165.4	210.9	66.2	21.9	28.0	8.8	
	東みよし町	0.40	0.00	0.60			1.00	2,163	0	550			259	94	112	32	224.7	267.7	76.5	29.3	34.9	10.0	
南部	阿南市	0.20	0.20	0.60			1.00	630	530	0			81	2,450	2,639	1,220	1,136.8	1,224.5	566.1	236.9	255.1	118.0	
	那賀町	0.00	0.40	0.60			1.00	0	1,340	0			132	127	126	47	136.1	135.1	50.4	20.1	20.0	7.4	
	牟岐町	0.40	0.00	0.60			1.00	1,640	0	0			228	29	54	25	38.0	70.8	33.2	7.9	14.8	6.9	
	美波町	0.40	0.00	0.60			1.00	1,240	0	0			175	136	114	43	134.9	113.1	42.7	28.5	23.9	9.0	
	海陽町	0.40	0.00	0.60			1.00	1,830	0	0			268	58	84	47	84.9	123.0	68.8	18.7	27.0	15.1	
計														42,350	42,332	21,973	14,166.5	14,891.1	7,179.6	1,590.0	1,703.0	801.1	

注：単価は、一人当たりの片道交通費。

1-2. 県外来場者の交通費

(a) 交通費の推計方法

阿波おどりの来場者が支払う交通費は、居住地からの飛行機や新幹線等の長距離鉄道の間交通手段と経由地点から徳島市までの最終交通手段（長距離バスや鉄道）の往復交通費となる。しかし、本推計では、県内経済への生産波及効果に関心があり、中間交通手段の交通費は県内需要とは結びつかないので、県外からの来場者の交通費は、県外居住地から徳島市内に入るすべての交通費を計上するのではなく、徳島市内に入る最終交通手段に要する交通費のみを対象とすることとし、その片道交通費を試算する⁴。

県外からの来場者の徳島市への交通費の推計方法は以下の通りである。

- ①県外から最終的に徳島市に入るための交通手段の組み合わせを「標準ルート」として設定する。
- ②標準的ルート別に、徳島市に入る最終交通手段分のみ、一人当たりの片道交通費単価を設定する。なお、運賃については関係機関の Web サイト等から得た情報を用いている。
- ③各都道府県から徳島市に入る標準ルートは複数存在するため、交通費単価と所要時間等の情報を参考にして、都道府県別来場者の標準ルート選択割合を設定する。
- ④ルート選択割合に（「モバイル空間統計」から得られた）都道府県別来場者数を乗じることで、都道府県別の標準ルート別来場者数を算出する。
- ⑤最後に、来場者数に交通費単価を乗じることで、都道府県別の標準ルート別交通費を算出する。

(b) 標準ルート⁵

図表 1-4 の左段には都道府県別の標準ルートとその選択割合および最終交通手段の片道交通費単価、右段には標準ルート別来場者数と交通費およびガソリン代を示している。

上記①で示した県外からの徳島市内への「標準ルート」は以下の通り設定している。

第 1 に、航空機を利用する場合、徳島市阿波おどり空港に直行便のある空港は羽田空港と福岡空港のみであり、この二つの空港から徳島に入るルートを A1 ルートと A2 ルートとする。どちらも徳島市阿波おどり空港から徳島市内へはリムジンバスに乗車するものとする。

第 2 に、長距離バスを利用する場合、京都市内、大阪市内、神戸市内、岡山市内、広島市内からダイレクトに徳島市に入るルートを B1 ルートから B5 ルートとする。さらに、四国の高松市内、松山市内、高知市内からダイレクトに徳島市に入るルートを B6 ルートから B8 ルートとする。なお、長距離バスによる移動はすべて県庁所在地を出発地とするものとして単純化している。

⁴ただし、県外来場者の中間交通手段を含めた交通費の試算結果は脚注 7 を参照。

⁵交通費の推計方法や標準ルートの設定は、安田(2008)第 5 章等を参考にしている。

第3に、鉄道の利用は三つのルート进行想定する。まず、香川県外から高松駅を經由して徳島駅に入るルートをC1ルートとし、すべて高松駅と起点として「特急しおかぜ」に乘車するものと仮定する。つぎに、香川県内居住者が鉄道移動するルートをC2ルートとし、すべて高松駅を起点とするものと単純化して、普通列車と「特急しおかぜ」の両方の乗車を仮定する。さらに、高知県内居住者が鉄道移動するルートをC3ルートとし、すべて高知駅を起点とするものと単純化して、特急列車を利用するものと仮定する。

第4に、関西地方の滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、中国地方の岡山県、広島県、四国地方の香川県、愛媛県、高知県からの自家用車移動を想定し、各11府県からのD1ルートからD11ルートとする。自家用車に係る費用として、県庁所在地のICから徳島ICまでの有料道路料金が該当する。また、ガソリン価格、走行距離、平均燃費から想定される各府県からのガソリン代を算出する。

第5に、和歌山県からの移動はフェリーの利用も想定されるため、Eルートとする。徳島港から徳島市への移動は市内バスの利用を仮定する。

徳島県へのアクセスはこの標準ルートを都道府県別に割り当てる。たとえば、北海道からの来場者は、徳島阿波おどり空港への直行便が存在しないため、羽田空港を經由するA1ルート、大阪の空港（伊丹空港、関西空港）を經由して長距離バスを利用するB2ルート、神戸空港を經由して長距離バスを利用するB3ルート、大阪と神戸の両空港から岡山駅と高松駅を經由する鉄道を利用するC1ルートが想定される。図表1-4の通り、選択割合はA1ルートが0.2（20%）、B2ルートが0.3（30%）、B3ルートが0.3（30%）、C1ルートが0.2（20%）と仮定する。

また、徳島阿波おどり空港への直行便が存在しない遠方の東北地方や九州地方の県では、県内の空港から大阪と神戸の空港を經由して、徳島県に入ることを想定する。四国3県については、すべて県庁所在地からバス(B)、鉄道(C)、乗用車(D)を利用するものと単純化している。

(c) 標準ルートに要する交通手段別交通費

標準ルートに要する交通費は徳島市にアクセスする最終交通手段のみを対象とし、その半分が到着地側に支払われたものとみなす。したがって、航空機利用の場合、居住地から高松空港や関西圏の空港（伊丹、関西、神戸空港）まで航空機を利用した後に、鉄道やバスで徳島市に入る来場者がいることを想定しているが、この場合、航空運賃は算定対象外としている。同様に、新神戸駅や岡山駅で新幹線を下り、特急列車や長距離バスで徳島市に入る場合も、特急代やバス代は算定するが、新幹線代は算定対象外である。

また、自家用車で移動については、2名乗車したものとして、片道の有料道路料金をさらに半分にした1人分の金額を計上する。また、ガソリン価格、平均燃費、走行距離⁶か

⁶ ガソリン代は（走行距離／平均燃費）×ガソリン単価で算出した。総務省「家計調査」によれば徳島市の2023年8月のガソリン価格は1リットル当たり181円、国土交通省によれば、ガソリン車の平均燃費

ら算出される各府県からのガソリン代の片道分も、2名で乗車したものとしてさらに半分にした1人分の金額を計上する。

さらに、日別ユニークによる来場者数のカウント方法では、県外からの来場者が二日間滞在した場合、実際には1往復分しか交通費を支払う必要がないのに、2往復分支払う計算になってしまうため、ダブルカウントを回避する必要がある。したがって、推計には8月12日から14日までの開催期間の期間ユニーク⁷で把握された来場者数を用いる。具体的には、8月13日の県外からの来場者は、日別ユニークでは28,978人であるが、交通費の推計に際しては期間ユニークの人数から算出した22,832人を用いる。同様に、14日は日別ユニークの11,633人ではなく9,085人を用いる。

上記の仮定から、県外来場者の阿波おどり会場までの交通手段別の交通費は、図表1-3の通り、8月12日は2億1,995万円、8月13日は1億3,606万円、8月14日は5,923万円になると見込まれる⁸。

図表1-3. 徳島県外からの来場者の交通手段別交通費（推計）

	県外来場者交通費(千円)				
	8月12日	8月13日	8月14日	12-13日	12-14日
飛行機	138,905	74,355	35,694	213,260	248,953
バス	41,866	31,756	12,246	73,622	85,868
鉄道	25,440	18,860	7,276	44,299	51,575
有料道路	10,967	8,885	3,199	19,851	23,050
フェリー	185	95	30	280	311
タクシー	-	-	-	-	-
ガソリン	2,590	2,108	789	4,699	5,487
合計	219,953	136,058	59,234	356,011	415,244

は1リットル当たり24.6km（ガソリン乗用車のJC08モード燃費平均値、令和3年度）である。走行距離は、乗用車を用いた場合の有料道路のインター間の距離を用いた。

⁷ 期間ユニークでは、開催期間内の12日と13日にある個人が2泊して2日間阿波おどりエリアに来場したとしても一人としてカウントされる。日別ユニークの場合は、各開催日に12日に一人、13日に一人としてカウントされる。

⁸ 中間交通手段の片道交通費は、一定の仮定の下で試算すると、8月12-13日で2億円程度となり、最終需要増加額に、中間交通手段と最終交通手段の片道交通費を含めた場合には、5億5,600万円程度になると見込まれる。なお、中間交通手段の交通費には、空港までの交通費、主要駅までの交通費は考慮されていない。

図表 1-4. 都道府県別来場者の交通費（推計）

都道府県	交通手段	標準ルート						選択割合 (a)	最終交通手段片道単価(円/人)			標準ルート	ルート別来場者数(人)			交通費(千円)			ガソリン代(千円)			
		飛行機	長距離鉄道	長距離バス	鉄道	リムジンバス	自家用車		フェリー	航空	自動車		ガソリン	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日
北海道	C1	千歳→大阪			高松→徳島			0.10	3,105			北海道	C1	21	7	3	65.8	21.2	8.3			
	B2	千歳→大阪		大阪→徳島			0.30	3,350			B2		64	20	8	213.1	68.5	26.9				
	C1	千歳→神戸			高松→徳島		0.10	3,105			C1		21	7	3	65.8	21.2	8.3				
	B3	千歳→神戸		神戸→徳島			0.30	3,100			B3		64	20	8	197.2	63.4	24.9				
	A1	千歳→羽田→徳島				空港→徳島		0.20	25,000	1,200			A1	42	14	5	1,110.9	357.3	140.5			
青森県	C1	青森→大阪			高松→徳島			0.20	3,105			青森県	C1	7	1	2	23.0	3.2	5.5			
	B2	青森→大阪		大阪→徳島			0.30	3,350			B2		11	2	3	37.2	5.1	9.0				
	C1	青森→神戸			高松→徳島		0.20	3,105			C1		7	1	2	23.0	3.2	5.5				
	B3	青森→神戸		神戸→徳島			0.30	3,100			B3		11	2	3	34.4	4.7	8.3				
岩手県	C1	花巻→大阪			高松→徳島			0.20	3,105			岩手県	C1	4	1	1	11.2	2.1	3.5			
	B2	花巻→大阪		大阪→徳島			0.30	3,350			B2		5	1	2	18.1	3.4	5.7				
	C1	花巻→神戸			高松→徳島		0.20	3,105			C1		4	1	1	11.2	2.1	3.5				
	B3	花巻→神戸		神戸→徳島			0.30	3,100			B3		5	1	2	16.7	3.1	5.2				
宮城県	C1	仙台→大阪			高松→徳島			0.20	3,105			宮城県	C1	24	12	4	73.9	36.6	11.9			
	B2	仙台→大阪		大阪→徳島			0.30	3,350			B2		36	18	6	119.6	59.2	19.2				
	C1	仙台→神戸			高松→徳島		0.20	3,105			C1		24	12	4	73.9	36.6	11.9				
	B3	仙台→神戸		神戸→徳島			0.30	3,100			B3		36	18	6	110.7	54.7	17.8				
秋田県	C1	秋田→大阪			高松→徳島			0.40	3,105			秋田県	C1	6	2	4	18.6	7.6	13.5			
	B2	秋田→大阪		大阪→徳島			0.60	3,350			B2		9	4	7	30.2	12.3	21.9				
山形県	C1	山形→大阪			高松→徳島			0.40	3,105			山形県	C1	17	6	5	52.2	19.1	15.6			
	B2	山形→大阪		大阪→徳島			0.60	3,350			B2		25	9	8	84.4	31.0	25.3				
福島県	C1	福島→大阪			高松→徳島			0.40	3,105			福島県	C1	64	30	10	198.7	92.2	30.7			
	B2	福島→大阪		大阪→徳島			0.60	3,350			B2		96	45	15	321.6	149.2	49.7				
茨城県	A1	羽田→徳島				空港→徳島		0.25	25,000	1,200		茨城県	A1	39	20	12	1,028.4	513.3	325.1			
	C1	茨城→神戸			高松→徳島		0.20	3,105			C1		31	16	10	97.5	48.7	30.8				
	B3	茨城→神戸		神戸→徳島			0.30	3,100			B3		47	24	15	146.0	72.9	46.2				
	C1		東京→岡山		高松→徳島		0.10	3,105			C1		16	8	5	48.7	24.3	15.4				
	B3		東京→神戸	神戸→徳島			0.15	3,100			B3		24	12	7	73.0	36.4	23.1				
栃木県	A1	羽田→徳島				空港→徳島		0.70	25,000	1,200		栃木県	A1	63	42	23	1,650.6	1,107.9	597.7			
	C1		東京→岡山		高松→徳島		0.10	3,105			C1		9	6	3	27.9	18.8	10.1				
	B3		東京→神戸	神戸→徳島			0.20	3,100			B3		18	12	7	55.8	37.5	20.2				
群馬県	A1	羽田→徳島				空港→徳島		0.70	25,000	1,200		群馬県	A1	74	32	17	1,944.0	832.4	451.4			
	C1		東京→岡山		高松→徳島		0.10	3,105			C1		11	5	2	32.9	14.1	7.6				
	B3		東京→神戸	神戸→徳島			0.20	3,100			B3		21	9	5	65.7	28.1	15.3				
埼玉県	A1	羽田→徳島				空港→徳島		0.70	25,000	1,200		埼玉県	A1	489	212	85	12,819.7	5,559.5	2,216.6			
	C1		東京→岡山		高松→徳島		0.10	3,105			C1		70	30	12	217.0	94.1	37.5				
	B3		東京→神戸	神戸→徳島			0.20	3,100			B3		140	61	24	433.4	187.9	74.9				
千葉県	A1	羽田→徳島				空港→徳島		0.70	30,000	1,200		千葉県	A1	492	263	121	15,353.5	8,201.3	3,788.8			
	C1		東京→岡山		高松→徳島		0.10	3,105			C1		70	38	17	218.3	116.6	53.9				
	B3		東京→神戸	神戸→徳島			0.20	3,100			B3		141	75	35	435.9	232.8	107.6				

都道府県	標準ルート								選択割合 (a)	最終交通手段片道単価(円/人)		
	交通手段	飛行機	長距離		鉄道	リムジンバス	自家用車	フェリー		交通費		ガソリン(c)
			鉄道	バス						(b)	(c)	
東京都	A1	羽田→徳島				空港→徳島			0.70	25,000	1,200	
	C1		東京→岡山			高松→徳島			0.10	3,105		
	B3		東京→神戸	神戸→徳島					0.20	3,100		
神奈川県	A1	羽田→徳島				空港→徳島			0.70	25,000	1,200	
	C1		横浜→岡山			高松→徳島			0.10	3,105		
	B3		横浜→神戸	神戸→徳島					0.20	3,100		
新潟県	C1	新潟→大阪				高松→徳島			0.40	3,105		
	B2	新潟→大阪		大阪→徳島					0.60	3,350		
富山県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
石川県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
福井県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
山梨県	A1	羽田→徳島				空港→徳島			0.60	25,000	1,200	
	C1		東京→岡山	神戸→徳島		高松→徳島			0.10	3,105		
	B3		一神戸						0.30	3,100		
長野県	C1	松本→神戸				高松→徳島			0.40	3,105		
	B3	松本→神戸		神戸→徳島					0.60	3,100		
岐阜県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
静岡県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
愛知県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
三重県	C1		一岡山			高松→徳島			0.50	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
滋賀県	C1		一岡山			高松→徳島			0.40	3,105		
	B3		一神戸	神戸→徳島					0.50	3,100		
	D1						大津→徳島		0.10	2,780	730	
京都府	C1		一岡山			高松→徳島			0.30	3,105		
	B1			京都→徳島					0.50	3,800		
	D2						京都→徳島		0.20	2,595	682	
大阪府	C1		一岡山			高松→徳島			0.25	3,105		
	B2			大阪→徳島					0.50	3,350		
	D3						大阪→徳島		0.25	2,850	539	
兵庫県	C1		一岡山			高松→徳島			0.25	3,105		
	B3			神戸→徳島					0.50	3,100		
	D4						神戸→徳島		0.25	2,200	477	

都道府県	標準ルート	ルート別来場者数(人)			交通費(千円)			ガソリン代(千円)		
		8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日
		(d)=来場者数×(a)			(e)=(b)×(d)			(e)=(c)×(d)		
東京都	A1	2,556	1,335	707	66,977.7	34,970.7	18,527.1			
	C1	365	191	101	1,133.9	592.1	313.7			
	B3	730	381	202	2,264.2	1,182.2	626.3			
神奈川県	A1	1,101	637	268	28,848.8	16,682.1	7,013.2			
	C1	157	91	38	488.4	282.4	118.7			
	B3	315	182	76	975.3	564.0	237.1			
新潟県	C1	22	7	7	67.1	22.0	22.7			
	B2	32	11	11	108.5	35.7	36.7			
富山県	C1	70	32	7	215.8	99.4	21.7			
	B3	70	32	7	215.5	99.3	21.6			
石川県	C1	65	53	34	200.3	164.3	105.8			
	B3	65	53	34	200.0	164.0	105.7			
福井県	C1	43	39	6	133.5	119.8	18.3			
	B3	43	39	6	133.3	119.7	18.3			
山梨県	A1	82	38	7	2,153.6	991.4	187.6			
	C1	14	6	1	42.5	19.6	3.7			
	B3	41	19	4	127.4	58.7	11.1			
長野県	C1	50	40	9	155.3	123.7	27.9			
	B3	75	60	13	232.5	185.2	41.7			
岐阜県	C1	77	80	24	237.5	248.4	74.5			
	B3	77	80	24	237.2	248.0	74.4			
静岡県	C1	257	106	48	796.4	329.5	148.7			
	B3	257	106	48	795.2	328.9	148.5			
愛知県	C1	618	466	208	1,917.3	1,446.2	646.6			
	B3	618	466	208	1,914.3	1,443.9	645.5			
三重県	C1	114	80	31	354.0	247.5	97.2			
	B3	114	80	31	353.4	247.1	97.0			
滋賀県	C1	162	111	27	503.0	344.8	83.7			
	B3	203	139	34	627.8	430.3	104.5			
	D1	41	28	7	112.6	77.2	18.7	29.6	20.3	4.9
京都府	C1	353	265	125	1,097.3	823.2	386.8			
	B1	589	442	208	2,238.2	1,679.1	789.0			
	D2	236	177	83	611.4	458.7	215.5	160.6	120.5	56.6
大阪府	C1	1,530	1,165	402	4,749.9	3,617.8	1,249.3			
	B2	3,060	2,330	805	10,249.3	7,806.6	2,695.7			
	D3	1,530	1,165	402	4,359.8	3,320.7	1,146.7	825.0	628.4	217.0
兵庫県	C1	1,188	981	295	3,688.7	3,047.5	915.3			
	B3	2,376	1,963	590	7,365.6	6,085.2	1,827.6			
	D4	1,188	981	295	2,613.6	2,159.3	648.5	566.4	468.0	140.5

都道府県	標準ルート								選択割合 (a)	最終交通手段片道単価(円/人)	
	交通手段	飛行機	長距離	長距離	鉄道	リムジンバス	自家用車	フェリー		交通費 (b)	ガソリン (c)
			鉄道	バス							
奈良県	C1		一岡山		高松一徳島				0.30	3,105	
	B2			大阪一徳島					0.45	3,350	
	D5						奈良一徳島		0.25	2,555	567
和歌山県	C1		一岡山		高松一徳島				0.25	3,105	
	B2			大阪一徳島					0.30	3,350	
	E						和歌山一徳島		0.20	2,440	420
	D6						和歌山一徳島		0.25	2,635	734
鳥取県	C1		一岡山		高松一徳島			1.00	3,105		
島根県	C1		一岡山		高松一徳島			1.00	3,105		
岡山県	C1				高松一徳島				0.25	3,105	
	B4			岡山一徳島					0.45	3,400	
	D7						岡山一徳島		0.30	2,750	532
広島県	C1		一岡山		高松一徳島				0.35	3,105	
	B5			広島一徳島					0.50	7,000	
	D8						広島一徳島		0.15	2,965	956
山口県	C1		一岡山		高松一徳島			1.00	3,105		
徳島県								1.00			
香川県	C2				高松一徳島				0.25	2,373	
	B6			高松一徳島					0.40	2,100	
	D9						高松一徳島		0.35	735	241
愛媛県	C1				高松一徳島				0.30	3,105	
	B7			松山一徳島					0.40	4,320	
	D10						松山一徳島		0.30	1,595	673
高知県	C3				高知一徳島				0.30	6,095	
	B8			高知一徳島					0.40	3,600	
	D11						高知一徳島		0.30	1,365	556
福岡県	A2	福岡一徳島				空港一徳島			0.90	11,000	1,200
	C1		博多一岡山		高松一徳島				0.10	3,105	
佐賀県	A2	福岡一徳島				空港一徳島			1.00	11,000	1,200
長崎県	A2	福岡一徳島				空港一徳島			1.00	11,000	1,200
熊本県	A2	福岡一徳島				空港一徳島			0.50	11,000	1,200
	C1		熊本一大阪		高松一徳島				0.20	3,105	
大分県	B2		熊本一大阪						0.30	3,350	
	C1		大分一大阪		高松一徳島				0.40	3,105	
宮崎県	B2		大分一大阪						0.60	3,350	
	C1		宮崎一大阪		高松一徳島				0.40	3,105	
鹿児島県	B2		大分一大阪						0.60	3,350	
	C1		鹿児島一大阪		高松一徳島				0.20	3,105	
	B2		鹿児島一大阪		大阪一徳島				0.30	3,350	
	C1		鹿児島一神戸		高松一徳島				0.20	3,105	
沖縄県	B3		鹿児島一神戸		神戸一徳島				0.30	3,100	
	C1		那覇一高松		高松一徳島				1.00	3,105	

都道府県	標準ルート	ルート別来場者数(人)			交通費(千円)			ガソリン代(千円)		
		8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日	8月12日	8月13日	8月14日
		(d)=来場者数×(a)			(e)=(b)×(d)			(e)=(c)×(d)		
奈良県	C1	129	103	22	400.5	320.7	66.8			
	B2	194	155	32	648.2	519.0	108.1			
	D5	108	86	18	274.7	219.9	45.8	61.0	48.8	10.2
和歌山県	C1	81	41	13	251.5	128.8	41.2			
	B2	97	50	16	325.6	166.7	53.4			
	E	65	33	11	185.3	94.9	30.4			
	D6	81	41	13	213.4	109.3	35.0	59.5	30.4	9.8
鳥取県	C1	153	92	9	475.1	285.4	28.2			
島根県	C1	111	76	12	344.7	237.5	35.8			
岡山県	C1	240	242	85	743.6	752.9	263.2			
	B4	431	436	153	1,465.7	1,484.0	518.8			
	D7	287	291	102	790.4	800.2	279.7	152.8	154.7	54.1
広島県	C1	283	283	119	878.1	879.4	368.2			
	B5	404	405	169	2,828.0	2,832.3	1,185.7			
	D8	121	121	51	359.4	359.9	150.7	115.8	116.0	48.6
山口県	C1	159	117	54	493.7	362.7	168.2			
徳島県										
香川県	C2	670	600	300	1,588.4	1,424.5	712.5			
	B6	1,071	961	481	2,249.5	2,017.4	1,009.1			
	D9	937	841	420	688.9	617.8	309.0	225.5	202.2	101.2
愛媛県	C1	436	372	167	1,353.5	1,154.3	518.7			
	B7	581	496	223	2,510.8	2,141.2	962.2			
	D10	436	372	167	695.3	592.9	266.5	293.5	250.3	112.5
高知県	C3	181	124	60	1,104.4	754.2	368.5			
	B8	242	165	81	869.8	593.9	290.2			
	D11	181	124	60	247.3	168.9	82.5	100.7	68.7	33.6
福岡県	A2	426	324	151	5,193.5	3,956.7	1,840.7			
	C1	47	36	17	146.9	111.9	52.1			
佐賀県	A2	48	43	27	585.6	528.1	325.9			
長崎県	A2	68	24	11	829.6	297.0	130.0			
熊本県	A2	34	29	12	408.7	357.1	149.2			
	C1	13	12	5	41.6	36.4	15.2			
大分県	B2	20	18	7	67.3	58.8	24.6			
	C1	29	16	5	90.7	49.1	16.7			
宮崎県	B2	44	24	8	146.7	79.5	27.0			
	C1	35	10	6	109.3	31.3	17.2			
鹿児島県	B2	53	15	8	176.9	50.6	27.8			
	C1	15	9	6	47.2	26.9	18.4			
	B2	23	13	9	76.4	43.5	29.8			
	C1	15	9	6	47.2	26.9	18.4			
沖縄県	B3	23	13	9	70.7	40.3	27.6			
	C1	91	60	19	282.6	187.1	58.2			
計		31,498	22,832	9,085	217,362	133,950	58,445	2,590	2,108	789

注：交通費単価は、最終交通手段の片道単価を計上。

1-3. 駐車代

来場者の駐車代は、「モバイル空間統計」から得られる来場者数と阿波おどり未来へつなく実行委員会の公表資料⁹等を用いて、臨時駐車場と公共駐車場および民間等駐車場に分けて推計した。

(1) 臨時駐車場と公共駐車場の利用者と台数、駐車代

図表 1-5 には、徳島市阿波おどりのために設けられた臨時駐車場と、公共駐車場の収容台数と利用料金、利用実績、来場者の駐車代支出の算定結果が示されている。

図表 1-5. 臨時駐車場と公共駐車場の利用台数と駐車代

	収容 台数 (a)	1台当 料金 (円) (b)	12-13日		12-14日	
			利用 台数 (c1)	駐車代 (千円) (b × c1)	利用 台数 (c2)	駐車代 (千円) (b × c2)
内町小学校臨時駐車場	350	1,500	636	954	902	1,353
富田中央公園臨時駐車場	100	1,500	270	405	380	570
マリンターミナル駐車場	250	0	554	0	638	0
イオンモール徳島第2駐車場	700	0	1,492	0	1,659	0
徳島県庁駐車場	210	0	420	0	599	0
市営新町地下駐車場	133	1,500	266	399	379	569
市営紺屋町地下駐車場	287	1,500	574	861	818	1,227
市営駅前西地下駐車場	154	1,500	308	462	439	658
県営藍場町地下駐車場	295	1,500	590	885	841	1,261
県営富田浜第1駐車場	71	1,500	142	213	202	304
県営富田浜第2駐車場	40	1,500	80	120	114	171
県営幸町駐車場	42	1,500	84	126	120	180
アスティとくしま駐車場	534	200	1,068	214	1,202	240
計	3,166		6,484	4,639	8,292	6,532

出所：阿波おどり未来へつなく実行委員会「2023 阿波おどりの開催結果について」等より、一定の仮定の下で作成。

算定の基礎となる情報は以下の通りである。

徳島市内の阿波おどり会場に設けられた臨時駐車場である内町小学校臨時駐車場、富田中央公園臨時駐車場、マリンターミナル駐車場、イオンモール徳島第2駐車場の収容台数、料金および利用台数は、阿波おどり未来へつなく実行委員会の公表資料等を用いた。

上記以外の駐車場のうち、まず、徳島県庁駐車場の収容台数と1台当たりの料金は、阿波おどり未来へつなく実行委員会の公表資料を参考にした。具体的には、内町小学校臨時駐車場と富田中央公園臨時駐車場を合わせた8月12-13日の収容率が100%、14日の収容率が84%程度であったことから、同様に徳島県庁駐車場の12-13日の利用台数は収容率100%、12-14日の利用台数は、14日分の収容率を85%として算出した。つぎに、市営と県営の六つの公共駐車場の収容台数は各施設のウェブサイトを参照し、料金は駐車場によ

⁹ 阿波おどり未来へつなく実行委員会「2023 阿波おどりの開催結果について」

って複雑に異なるため、簡単のため、臨時駐車場と同一の 1,500 円と仮定した。また、利用台数は徳島県庁駐車場と同じ仮定で算出した。アスティとくしま駐車場については、8月 12-13 日の収容率を 100%、14 日は阿波おどり会場から距離が離れているため、マリンターミナル駐車場、イオンモール徳島第 2 駐車場の 14 日の利用率が 26%程度であったことから、12-14 日の利用台数は、14 日分の収容率を 25%として算出した。

図表 1-5 より、8月 12-13 日の二日間の臨時駐車場と公営駐車場の利用台数は 6,484 台、利用者が支払った駐車代金は 464 万円であり、12-14 日の三日間では、8,292 台で、駐車代金は 653 万円と見込まれる。車両 1 台に 2 人の乗車を仮定した場合、利用者数は、8月 12-13 日は利用台数 6,484 台の 2 倍の 12,968 人、12-14 日は 8,292 台の 2 倍の 16,583 人となる。

(2) 市中の駐車場利用者と台数、駐車代の算出

上記の駐車台数には、阿波おどり会場周辺に多く存在する市中の民間等駐車場利用台数が含まれていないので、来場者のなかの自家用車利用者数から、臨時駐車場と公営駐車場の利用者を除いた人数を、市中の民間等駐車場の利用人数とその台数として算出する。

図表 1-6. 市中の駐車場利用者と台数の算出

		12-13日	12-14日
県外者の自家用車利用人数	(a)	9,372	10,991
県内者の自家用車利用人数	(b)	35,525	44,595
徳島市ほか送迎人数	(b1)	19,569	24,665
県内駐車場利用人数	(b2)	15,956	19,929
駐車場利用人数計	(c=a+b2)	25,328	30,921
臨時駐車場等利用人数	(d)	12,968	16,583
市中駐車場利用人数	(e=c-d)	12,360	14,337
市中駐車場利用台数	(f=e/2)	6,180	7,169

注：人数の単位は人。

図表 1-6 の通り、「モバイル空間統計」から、県外からの自家用車利用者数は 8月 12-13 日の二日間で 9,372 人 (a)、県内居住者の自家用車利用者数は 35,525 人 (b) と見込まれる。ただし、県内居住者の自家用車利用者数のうち、徳島市と近隣町（石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町）では駐車場を利用しない家族等による会場への送迎が多く含まれると予想されるため、この割合を徳島市と近隣町でそれぞれ 80%と 40%として、その人数を（駐車場を利用しない）徳島市ほか送迎人数（19,569 人 (b1)）とする。これを県内自家用車利用者数 (b) から除くと、県内居住者の駐車場利用人数は 15,956 人 (b2) となり、さらに、県内外の駐車場利用者を合わせた総数 (a+b2) は、25,328 人 (c) となる。この 25,328 人から上述の臨時駐車場等利用人数 12,968 人 (d) を差し引くと、市中の駐車場の利用者が 12,360 人 (e=c-d) となり、これを台数（1 台当たり 2 人が乗車と仮定）に換算すると、6,180 台 (f) となる。同様に、12-14 日の三日間では、市中の駐車場の利用者は 14,337

人(e)となり、台数に換算すると、7,169台(f)となる¹⁰。

図表 1-7 は、臨時、公営、民間等駐車場台数と駐車代をまとめたものである。市中の民間等駐車場の利用台数に臨時駐車場等と同じ料金 1500 円を乗じることで、駐車場代は、8 月 12-13 日は 927 万円、12-14 日は 1,075 万円となると見込まれる。

図表 1-7. 駐車場別台数と駐車代（まとめ）

	12-13日		12-14日	
	利用台数	駐車代 (千円)	利用台数	駐車代 (千円)
臨時駐車場	2,952	1,359	3,579	1,923
公営駐車場	3,532	3,280	4,713	4,609
民間等駐車場	6,180	9,270	7,169	10,754
計	12,664	13,909	15,461	17,286

1-4. 訪日外国人の交通費

訪日外国人の交通費については、観光庁「訪日外国人消費動向調査 2023 年 7～9 月期（2 次速報）」より、徳島県を訪れた訪日外国人の徳島県内における費目別購入率と購入者単価がわかるので、これらの積から一人当たり消費単価を算出し、さらに徳島県での平均宿泊日数 1.58 日で除すことで、一泊当たりの一人当たり消費単価（円（人/泊））を推計した。ただし、訪日外国人は徳島県内に入る日本国内の直前の滞在地が把握できないので、県内の移動のみの平均的な交通費を算出した。交通手段と単価は、鉄道（短距離移動）と近郊バス、その他交通費のみを選択するものとし、「訪日外国人消費動向調査」から得られた鉄道（短距離移動）8 円、近郊バス 76 円、その他交通費 103 円の合計 187 円（人/泊）を用いた。これに来場者数（8 月 12-13 日の概算 120 人）を乗じることで、訪日外国人来場者の交通費は 2.2 万円と推計された。

¹⁰ この試算の場合、市中の民間等駐車場の収容台数は 1 日当たり 3,000 台程度必要になるが、徳島市中心部に立地する民間駐車場だけでもその収容台数を積み上げると、2,000 台程度存在することが確認された。さらに中心部以外も含めれば、3000 台の収容は十分に可能である。

2. 来場者の宿泊費

2-1. 国内居住者の宿泊者数

阿波おどりの開催によって、阿波おどり会場に訪れた県外からの来場者の多くは徳島県内に宿泊する。来場者の宿泊費は、徳島市阿波おどりの開催によって新たに発生した需要額（最終需要額）として、経済波及効果を推計するために用いられる。来場者の宿泊者数と宿泊費は、公表データ等から把握が困難なため、一定の仮定の下で推計する必要がある。来場者数の推計方法は以下の通りである。

「モバイル空間統計」では、開催日の18時から22時台に阿波おどりエリア内に滞在した来場者が、その晩の午前2時から4時台に、阿波おどりエリア内にいたか、徳島県内にいたか、徳島県外にいたかを、日別ユニークで把握できる¹¹。

ただし、この情報は、来場者の夜間の滞在場所はわかるが、居住地と紐づけられていないため、徳島県内からの来場者は全員日帰りであり、宿泊者は県外からの来場者という仮定を置く。しかしながら、県外からの来場者の全員が県内に宿泊するわけではなく、自家用車や公共交通機関で県外の自宅まで日帰りすることができるので、夜間に県外に滞在した者をすべて県外来場者の日帰り者とした。

図表 2-1 は、阿波おどり来場者数と宿泊者数との関係を整理したものである。

図表 2-1. 阿波おどり来場者数と宿泊者数（人）

		8月12日	8月13日	8月14日	12-13日	12-14日
来場者総数	(A)	73,848	71,310	33,606	145,158	178,764
徳島県内来場者	(B)	42,350	42,332	21,973	84,682	106,655
県外来場者	(C)	31,498	28,978	11,633	60,476	72,109
日帰り者	(x)	10,023	10,628	3,866	20,651	24,517
県内宿泊者	(y=C-x)	21,475	18,350	7,767	39,825	47,592
阿波おどりエリア内宿泊者	(y1)	4,929	4,346	2,968	9,275	12,243
エリア外宿泊者	(y2=y-y1)	12,885	11,010	4,660	23,895	28,555

注：単位は人。

出所：「モバイル空間統計」、「国勢調査」より推計。

県外からの来場者(C)は、8月12日は31,498人、13日は28,978人、14日は11,633人であり、12-13日の合計は60,476人、12-14日は72,109人である。このうち、午前2時から4時台の夜間に県外に滞在していた者を日帰り者(x)とした。この県外からの日帰り者は、8月12日は10,023人、13日は10,628人、14日は3,866人であり、12-13日の合計は20,651人、12-14日は24,517人である。県内宿泊者(y)は、県外からの来場者(C)から日帰

¹¹ もちろん、8月12日から14日にかけて阿波おどりエリアに滞在した人も、阿波おどりエリアに滞在して県内に宿泊した人も、全員が阿波おどりを目的とした来場者とは限らないが、阿波おどり開催期間という特殊性から、ここではすべての人を阿波おどりの来場者の宿泊者としている

り者(x)を控除することで算出でき、8月12日は21,475人、13日は18,350人、14日は7,767人であり、12-13日の合計は39,825人、12-14日は47,592人である。

「モバイル空間統計」で把握される18時から22時台に阿波おどリエリア内に滞在した来場者のうち、午前2時から4時台も同じ阿波おどリエリア内に滞在した人数は、8月12日は8,362人、13日は7,779人、14日は6,401人であった。しかし、この人数には、県外から来場した宿泊者だけでなく、(来場者としてカウントした)阿波おどリエリア内の居住者も含まれるため、県外からの同エリア内の宿泊者を特定するには、居住者を除く必要がある。同エリア内の居住者数は2020年国勢調査によれば3,830人、さらに「モバイル空間統計」の対象人口(15-89歳人口)は3,433人であり、後者を控除すると、実際のエリア内宿泊者(y1)は、8月12日は4,929人、13日は4,346人、14日は2,968人、12-13日の合計は9,275人、12-14日は12,243人である。

最後に、阿波おどリエリア外の県内宿泊者(y2)は、県内宿泊者(y)から阿波おどリエリア内の宿泊者(y1)を控除した人数であり、8月12日は12,885人、13日は11,010人、14日は4,660人、12-13日の合計は23,895人、12-14日は28,555人である。

2-2. 宿泊単価と宿泊費(国内居住者と訪日外国人)

来場者の宿泊者数と同様に、宿泊単価は公表データ等から把握が困難なため、一定の仮定の下で推計する必要がある。以下では、阿波おどり期間中の1人当たりの宿泊単価の推計方法を示す。

徳島県内の宿泊施設に対して、宿泊施設の客室数、定員数、阿波おどり開始期間とその前後の客室単価、客室稼働率について、アンケート調査を実施した。65施設から回答を得て、そのうち徳島市内が34施設で52%、市外が33施設で48%であり、徳島市を除く東部は鳴門市9施設、吉野川市2施設、阿波市3施設、神山町2施設、松茂町3施設、その他郡部3施設、西部は三好市3施設、郡部1施設、南部は阿南市4施設、郡部1施設である。これらの情報から、宿泊者1人当たりの宿泊単価を算出する。

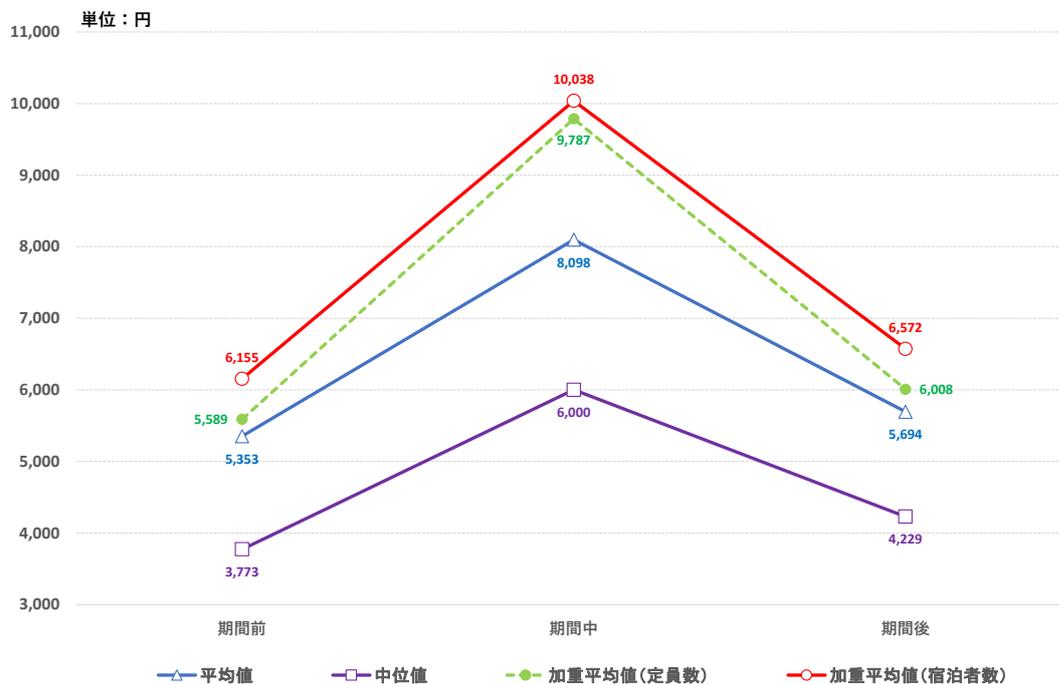
宿泊者1人当たりの宿泊単価の代表値の算出方法には、単純平均値、中央値、加重平均値等が挙げられるが、図表2-2には、阿波おどり期間の前中後の宿泊者単価(円/人)を示している。加重平均値は各施設の定員数をウエイトとしたものと、各施設の宿泊者数(定員数×稼働率)をウエイトとしたものを二つ算出している。図表2-2より、以下の点が確認できる。

第1に、阿波おどり開催期間(8月11日-15日)の前(8月1日-10日頃)と後(8月16日-20日頃)と比較して、開催期間の1人当たりの宿泊者単価が上昇していることが確認できる。

第2に、阿波おどり期間の徳島県内宿泊施設の宿泊者単価は、加重平均値の宿泊者ウエイトが10,038円、定員数ウエイトが9,787円、平均値が8,098円、中央値が6,000円である。平均値が中央値より高いのは、宿泊単価の分布が右に偏っている(宿泊単価の高い宿泊施設が多い)ためである。加重平均値が高いのは、定員数や宿泊者数の多い宿泊施設の

宿泊単価が高いことが影響している。

図表 2-2. 阿波おどり期間の前中後の一人当たり宿泊費（客単価：円/人・泊）



出所：独自の宿泊施設アンケート調査より推計して作成。

阿波おどり期間の徳島県内の一人当たりの宿泊単価（円/泊）には、加重平均値（宿泊者数ウェイト）10,038 円を用い、国内居住者と訪日外国人は同じ単価とした。宿泊単価と県内宿泊者数を乗じることで、8月12-13日の宿泊費は、図表 2-3 の通り、4 億 97 万円と見込まれる。

図表 2-3. 8月12-13日の宿泊費（推計）

費目	宿泊者数(人)		単価(円/1人1泊)		宿泊費(千円)		
	国内	海外	国内	海外	国内	海外	計
宿泊費	39,825	120	10,038	10,038	399,763	1,205	400,968

出所：「モバイル空間統計」等より推計して作成。

3. 来場者の消費支出

徳島市阿波おどりの来場者の観光消費である飲食費と土産等の買物代は、国内居住者と訪日外国人共に、政府統計から推計する方法をとった。

(1)国内来場者の観光消費単価と消費額

徳島市阿波おどりの来場者に関する観光消費調査は存在しないので、観光庁「旅行・観光消費動向調査 2023年7~9月期(確報)」から、宿泊旅行と日帰り旅行の観光・リクリエーション目的の旅行単価(円/人・回)を得た。さらに、これを8月の平均宿泊日数1.91日で除すことで、一泊当たりの一人当たり消費単価(円/人・泊)を算出した。8月12-13日の推計結果は図表3-1の通り、宿泊者は、一泊当たりの飲食費単価が5,028円、買物代単価は4,450円で、合わせて9,578円となった。同様に、日帰り者は、飲食代単価が2,729円、買物代単価は4,635円で、合わせて7,364円となった。これらに宿泊者数と日帰り者数を乗じることで、来場者全体の観光消費額を算出した。

ただし、8月12-13日の宿泊者数は図表2-1では39,825人であるが、これは日別ユニークの合計であり、一部の来場者が重複しているため、二日間の期間ユニークの33,679人を観光消費単価に乗じる。また、日帰り人数105,333人(図表2-1の徳島県内からの来場者(B)84,682人と県外からの日帰り来場者(x)20,651人の合計)のうち、東部地域(徳島市を含む15市町村)の居住者は(遠方からの来場者とは異なり)土産等の買い物はしないと仮定し、8月12-13日の日帰り人数から東部地域からの来場者77,515人(「報告書」図表2-5参照)を差し引いた27,818人に観光消費単価に乗じる。

宿泊者の観光消費支出額は、図表3-1の通り、飲食費が2億25万円、買物代が1億5,323万円で、合わせて3億5,348万円となる。日帰り者は、飲食費が2億8,745万円、買物代は1億2,894円となり、合わせて4億1,639万円と見込まれる。

(2)訪日外国人の観光消費単価と消費額

観光庁「訪日外国人消費動向調査 2023年7~9月期(2次速報)」では、訪日外国人の四半期ベースの観光・レジャー目的訪問者の訪問地別・費目別購入率および購入者単価が得られる。具体的には、2023年7-9月期に徳島県を訪問した訪日外国人の徳島県内における費目別購入率と購入者単価がわかるので、これらの積から一人当たり消費単価(円/人・回)を算出し、さらに徳島県での平均宿泊日数1.58日で除すことで、一泊当たりの一人当たり消費単価(円/人・泊)を算出した。その結果、8月12-13日の推計結果は図表3-1の「海外」の通り、飲食費単価は4,369円(人/泊)、買物代は3,485円(人/泊)となった。ただし、都道府県別に集計した場合、買物の購入品目がわからないため、全国の観光・レジャー目的の訪問者の費目別の1人1回当たり旅行消費単価の割合を用いて3,485円を図表3-1の通り、品目別に按分した。最後に、これに来場者数(8月12-13日の120人)を乗じることで、訪日外国人来場者の観光消費額を算出した。図表3-1の「海外」の通り、飲食費が52万円、買物代が42万円で、合わせて94万円と推計された。

以上から、8月12-13日の国内居住者と訪日外国人の飲食費と買物代の総額は7億7,081万円と見込まれる。

図表 3-1. 8月12-13日の観光消費単価と消費額（推計）

費目		消費額単価(円/1人1泊)			消費額(千円)			
		宿泊	日帰り	海外	宿泊	日帰り	海外	計
飲食費	飲食費	5,028	2,729	4,369	200,251	287,454	524	488,229
買物代	菓子類	938	799	470	31,598	22,227	56	53,881
	農産物	205	422	17	6,894	11,739	2	18,636
	水産物	243	214	0	8,199	5,953	0	14,152
	その他食料品・飲料・酒・たばこ	567	727	374	19,096	20,224	45	39,365
	衣類・帽子・ハンカチなど繊維製品	288	441	594	9,716	12,268	71	22,055
	靴・かばんなど皮革製品	128	164	642	4,320	4,562	77	8,959
	化粧品・医薬品・写真フィルムなど	62	45	847	2,098	1,252	102	3,452
	陶磁器・ガラス製品	66	77	0	2,222	2,142	0	4,364
	その他土産代・買物代	2,051	1,746	542	69,086	48,570	65	117,721
計		9,578	7,364	7,855	353,480	416,390	943	770,813

注：日帰り来場者の消費額には、徳島市と東部地域からの来場者の買い物代が計上されていない。

出所：観光庁「旅行・観光消費動向調査 2023年7～9月期（確報）」、観光庁「訪日外国人消費動向調査 2023年7～9月期（2次速報）」等より推計して作成。

4. 連員の支出

本推計では、踊りを披露した連員はすべて来場者数（図表 2-1(A)参照）の中に含まれており、県内居住者の連員であれば、飲食費等が既に計上されている。それ以外の連員の阿波おどりのための支出には、ゆかたや足袋・下駄、帯等の衣装代とゆかたのクリーニング代が挙げられる。

ゆかたは毎年購入されるわけではないことを考慮して、3年に1回購入されると仮定し、足袋・下駄、帯等は毎年購入されるものと仮定した¹²。ゆかたのクリーニング代は阿波おどり終了後に、クリーニングに出されることを考慮した。ゆかた代、衣装代およびクリーニング代は、男踊り、女踊り、ちびっ子踊り別に徳島市提供資料より把握し、加重平均価格（男踊り：女踊り：ちびっ子踊り＝0.45：0.45：0.1）を、図表 4-1 の通り算出した。

踊りを披露した連員数は以下の仮定をおいて算出した。まず、連員数は阿波おどり未来へつなぐ実行委員会資料より、8月12日から14日までの参加連数（12日は126連、13日は133連、14日は96連）が把握できるため、最も参加連数が多かった13日の133連から、有名連が34連、一般連が99連参加したものと仮定した。つぎに、有名連の連員数は平均して100名程度であり、その2/3程度は参加していると仮定して、有名連の参加者数は一連当たり60人、一般連は有名連の参加者数の1/2以下の一連当たり25人と仮定して、一連当たり連員数と参加連数との積から、参加連員の総数を4,415人とした。

連員の支出は、参加連員数4,415人に衣装単価を乗じることで算出した。図表 4-1 に示す通り、ゆかたと衣装関連を合わせた金額は4,727万円、クリーニング代は1,128万円で、連員の支出は5,855万円になると見込まれる。

図表 4-1. 連支出の単価と支出額（推計）

費目	衣装単価(円)				連支出額 (千円)
	男踊り	女踊り	子ども	平均価格	
ゆかた	5,610	6,050	4,767	5,724	25,270
衣装関連	2,622	8,166	1,283	4,983	21,998
クリーニング	1,500	4,000	800	2,555	11,280
計	9,732	18,216	6,850	13,261	58,549

注：加重平均価格のウエイトは男踊り：女踊り：ちびっ子踊り＝0.45：0.45：0.1と仮定した。

¹² ゆかたは、一般的に所属する連からの連員へのレンタルが多いとされるが、これは買い手が連員か連かの違いだけで阿波おどりのために支出されていることは同じである。

Ⅱ部. 産業連関表・経済波及効果

1. 産業連関表

経済波及効果を推計するにあたり、まず、そのベースとなる最終需要増加額の県内産業への振り分け（格付け）、つぎに、購入者価格から生産者価格への転換、最後に、県内需要増加額を算出するために調整した県内自給率について述べる。

1-1. 最終需要増加額の産業への格付け

徳島市阿波おどり開催による最終需要増加額は、来場者の各消費支出、連員の支出および阿波おどり開催事業費で捉える。図表 1-1 は、これらを「徳島県産業連関表」の 37 部門に対応づけて分類（格付け）したものである。

(a)交通費

交通費は「運輸・郵便」へ分類した¹³。ガソリン代は「石油・石炭製品」に分類し、駐車代のうち、公営駐車場は「公務」、臨時駐車場と民間駐車場は「運輸・郵便」とした。

(b)宿泊費

宿泊費は「対個人サービス」とした。

(c)観光消費

飲食費は「対個人サービス」とした。買物代は、図表 1-1 の通り、品物の内容から各種の産業部門に分類した。

(d)連支出

衣装等への支出は「繊維製品」、クリーニング代は（洗濯業が含まれる）「対個人サービス」に分類した。

(e)開催事業費

開催事業費については、「運營業務委託費」は、前夜祭事業と選抜阿波おどり事業、有料と無料演舞場事業、にわか連事業、総合案内所事業、臨時駐車場事業における県内のアナウンス業者やイベント運營業者への委託費であり、「対事業所サービス」とした。「会場設營業務委託費」は、県内の建築業者、電気業者、看板製作者への委託費であり、「建設」に分類した。「会場借上費」は、アスティとくしまとあわぎんホールの各県営会場の使用料、藍場浜公園とこども交通公園の各県営公園の使用料であり、すべて徳島県（県庁）への支払いのため、「公務」とした。「踊り連出演料」は、前夜祭事業と選抜阿波おどり事業の各事業で踊りを披露した各連への出演料であり、「対個人サービス」とした。「警備業務委託費」は、前夜祭事業、有料演舞場事業と無料演舞場事業、シャトルバス事

¹³ ただし、航空（短距離移動）とレンタカー・カーシェアリングは交通費の標準ルートの対象外とし、非掲載とした。

業における県内の警備会社共同体（一部県外を含む）への委託費であり、「対事業所サービス」とした。「衛生対策業務委託費」は、県内のリース業者、排水設備業者、廃棄物処理業者への仮設トイレ設置や、塵芥収集処分に係る経費等であり、「対事業所サービス」とした。シャトルバス運行業務委託費は県内のバス協会へのシャトルバス運行委託であり、「運輸・郵便」に分類した。「その他経費」には、県内の観光団体への対面販売委託費等が含まれており、「対事業所サービス」に分類した。その他に、「WEB制作費」は「情報通信」、「Tシャツ制作費」は「繊維製品」、「その他制作費」は、「その他の製造工業製品」、「保険」は「金融・保険」に分類した。なお、「スタッフ人件費」は最終需要ではないので「雇用者報酬」に分類し、図表 1-1 には示されていない。

図表 1-1. 産業連関表部門分類への格付け

費目		産業連関表部門分類
交通費	1 航空(長距離移動)	57 運輸・郵便
	2 新幹線・鉄道(長距離移動)	57 運輸・郵便
	3 長距離バス	57 運輸・郵便
	4 航空(短距離移動)	57 運輸・郵便
	5 鉄道・モノレール(短距離移動)	57 運輸・郵便
	6 近郊バス	57 運輸・郵便
	7 タクシー・ハイヤー	57 運輸・郵便
	8 船舶	57 運輸・郵便
	9 レンタカー・カーシェアリング	67 対個人サービス
	10 ガソリン	21 石油・石炭製品
	11 その他交通費	57 運輸・郵便
	12 駐車代(公営)	61 公務
12 駐車代(民営等)	57 運輸・郵便	
宿泊費	13 宿泊費	67 対個人サービス
飲食費	14 飲食費	67 対個人サービス
買物代	15 菓子類	11 飲食料品
	16 農産物	01 農林漁業
	17 水産物	01 農林漁業
	18 その他食料品・飲料・酒・たばこ	11 飲食料品
	19 衣類・帽子・ハンカチなど繊維製品	15 繊維製品
	20 靴・かばんなど皮革製品	39 その他の製造工業製品
	21 化粧品・医薬品・写真フィルムなど	20 化学製品
	22 陶磁器・ガラス製品	25 窯業・土石製品
	23 その他土産代・買物代	39 その他の製造工業製品
連員支出	24 衣装等支出	15 繊維製品
	25 クリーニング代	67 対個人サービス
開催事業費	26 運營業務委託費	66 対事業所サービス
	27 会場設營業務委託費	41 建設
	28 会場借上費	61 公務
	29 踊り連出演料	67 対個人サービス
	30 警備業務委託費	66 対事業所サービス
	31 衛生対策業務委託費	66 対事業所サービス
	32 シャトルバス運行費	57 運輸・郵便
	33 WEB制作費	59 情報通信
	34 Tシャツ制作費	15 繊維製品
	35 その他制作費	39 その他の製造工業製品
	36 保険	53 金融・保険
37 その他経費	66 対事業所サービス	

出所：徳島県産業連関表「37 部門表」より作成。

1-2. 県内自給率の調整

県内自給率は、「徳島県産業連関表」の「37 部門表」の移輸入の絶対値を県内需要合計で割ることで各部門の移輸入係数を算出し、さらに1-移輸入係数によって算出した。

さらに、直接効果（県内需要増加額）を算定するために、生産者価格ベースの観光消費額（連員の支出を含む）と開催事業費に乗じる産業別県内自給率は、それぞれ以下の通り調整した。

まず、来場者の消費は観光という性質上、土産品等の買物代を除く、交通移動（運輸・郵便）、飲食や宿泊（対個人サービス）は、県内で、県産の財・サービスを消費すると仮定できるため、先行事例¹⁴に倣い、図表 1-2 の通り、自給率を 100%に調整した。また、これらの観光消費から剥ぎ取った商業マージン分についても「商業」部門の自給率を 100%に調整した。また、連員の衣装のクリーニングは県内で行われると仮定できることから、連員の支出についても同じ自給率を用いる。

つぎに、開催事業費についても、県内団体への発注となっている踊り連出演料といった「対個人サービス」や運營業務や警備業務¹⁵、衛生対策業務といった「対事業所サービス」、さらに、シャトルバス運行費の「運輸・郵便」は、県内自給率を 100%に調整した。

¹⁴ 小長谷・前川(2012)等。

¹⁵ ただし、警備業務委託については、警備会社の共同体に一部県外事業者も含まれていたが、県外分を分離することが困難であるため全額県内への支出としている。

図表 1-2. 来場者消費と開催事業費別に調整した県内自給率

	部門分類	来場者消費 自給率	事業費 自給率	県産業連関表 自給率
01	農林漁業	0.52535	0.52535	0.52535
06	鉱業	0.01016	0.01016	0.01016
11	飲食料品	0.29483	0.29483	0.29483
15	繊維製品	0.19083	0.19083	0.19083
16	パルプ・紙・木製品	0.29143	0.29143	0.29143
20	化学製品	0.37539	0.37539	0.37539
21	石油・石炭製品	0.01798	0.01798	0.01798
22	プラスチック・ゴム製品	0.38958	0.38958	0.38958
25	窯業・土石製品	0.28092	0.28092	0.28092
26	鉄鋼	0.04152	0.04152	0.04152
27	非鉄金属	0.00000	0.00000	0.00000
28	金属製品	0.27808	0.27808	0.27808
29	はん用機械	0.06470	0.06470	0.06470
30	生産用機械	0.09148	0.09148	0.09148
31	業務用機械	0.00975	0.00975	0.00975
32	電子部品	0.09768	0.09768	0.09768
33	電気機械	0.01117	0.01117	0.01117
34	情報通信機器	0.01732	0.01732	0.01732
35	輸送機械	0.02529	0.02529	0.02529
39	その他の製造工業製品	0.18424	0.18424	0.18424
41	建設	1.00000	1.00000	1.00000
46	電力・ガス・熱供給	0.85339	0.85339	0.85339
47	水道	0.64884	0.64884	0.64884
48	廃棄物処理	0.82522	0.82522	0.82522
51	商業	1.00000	0.61946	0.61946
53	金融・保険	0.79125	0.79125	0.79125
55	不動産	0.99913	0.99913	0.99913
57	運輸・郵便	1.00000	1.00000	0.64831
59	情報通信	0.51851	0.51851	0.51851
61	公務	1.00000	1.00000	1.00000
63	教育・研究	0.76968	0.76968	0.76968
64	医療・福祉	0.99217	0.99217	0.99217
65	他に分類されない会員制団体	0.89829	0.89829	0.89829
66	対事業所サービス	0.38081	1.00000	0.38081
67	対個人サービス	1.00000	1.00000	0.57009
68	事務用品	1.00000	1.00000	1.00000
69	分類不明	0.99826	0.99826	0.99826

注：調整済後の産業部門別自給率はハイライトされている。

出所：徳島県産業連関表「37 部門表」より作成。

2. 経済波及効果

2-1. 経済波及効果

ここでは、経済波及効果の推計プロセスを、図表 2-1 を用いて詳述する¹⁶。

(1)直接効果

「①最終需要増加額」を産業部門に振り分け、これに、最終需要増加額のうち県内で調達できる割合を示す「県内自給率」(1-移輸入率)を乗じたものが県内需要増加額であり、この生産を誘発する効果が「②直接効果」となる。この生産誘発額に(「徳島県産業連関表」「37 部門表」の「投入係数表」から得られる)粗付加価値率と雇用者所得率を乗じることで、「③粗付加価値誘発額」とそれを構成する「④雇用者所得誘発額」が得られる。

(2)一次間接波及効果

「②直接効果」によって発生した最終需要を満たすための生産には、原材料や労働・資本等の投入が必要になるため、県内需要増加額に徳島県産業連関表 37 部門表の「投入係数」を乗じ、「⑤中間投入増加額」を算出する。

中間投入の原材料分については、すべてが県内で調達できるわけではないので、県内自給率を乗じて県内需要額を求め、さらにこれに「徳島県産業連関表」の「37 部門表」の「逆行列係数」を乗じることにより生産誘発額(⑥一次間接波及効果)を推計する。

(3)二次間接波及効果

二次間接波及効果では、従業者に支払われた賃金(雇用者所得)が消費支出を通じて新たな最終需要に結びつくため、その生産誘発効果を推計する。

直接効果と一次間接波及効果の生産によって誘発された雇用者所得(⑨雇用者所得増加額)は全て消費されるわけではないため、「消費転換率」を乗じて消費支出額を求める。総務省「家計調査」より算出した平均消費性向 0.65¹⁷を「消費転換率」とした。さらに、消費支出の内訳を(「徳島県産業連関表」の「37 部門表」から算出した)民間消費支出の構成比を用いて部門ごとに按分し、これを新たな最終需要とし、一次間接波及効果までのプロセスと同様に、「県内自給率」を乗じて県内需要額を求め、さらにこれに「逆行列係数」を乗じて生産誘発額(⑩二次間接波及効果)を推計する。

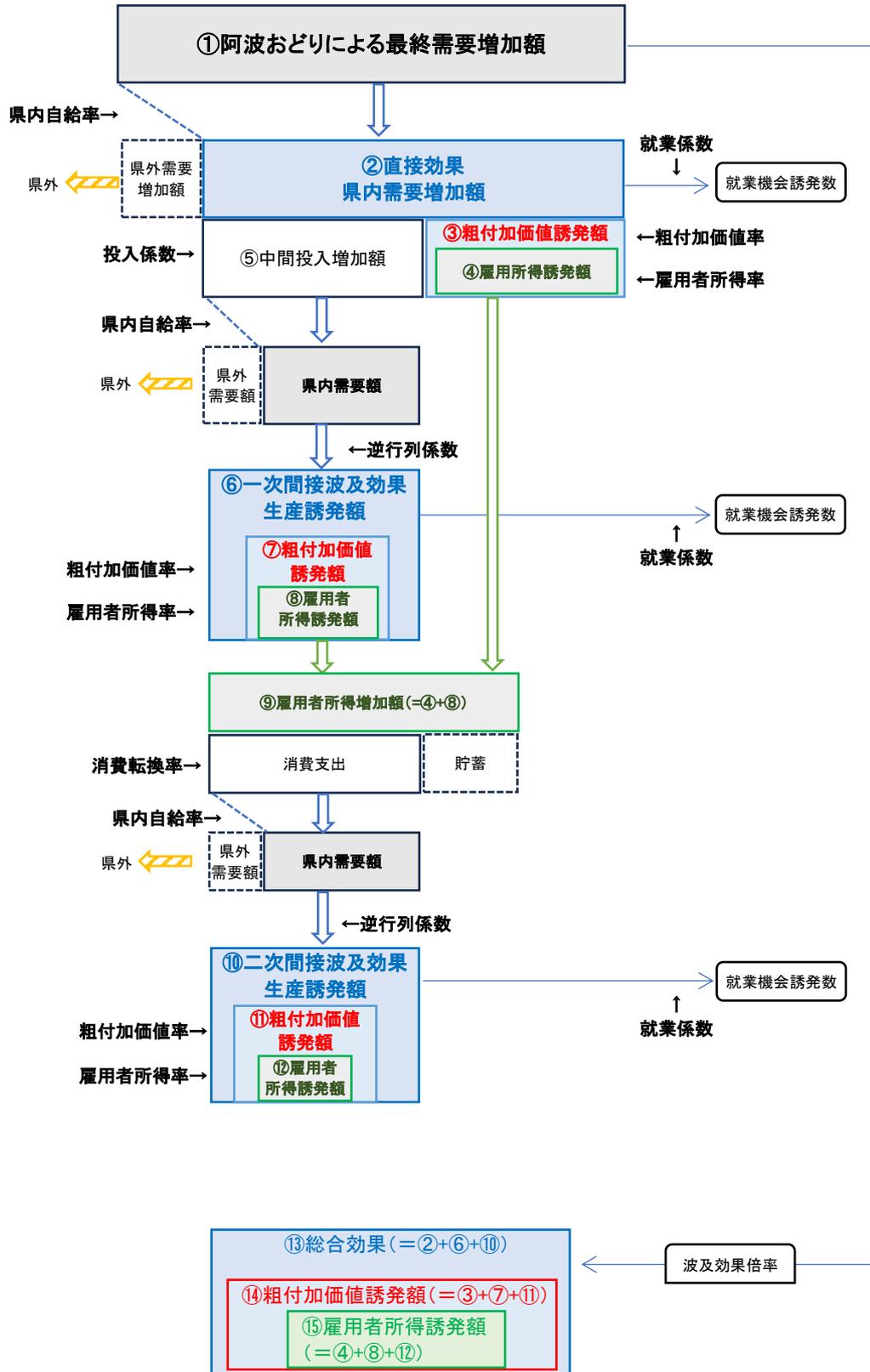
なお、三次間接波及効果以降も推計できるが、それ以降は繰り返し計算しても生産誘発額の増加は大きくないことが知られているため¹⁸、二次効果までの推計に止めている。

¹⁶ 詳細は、土居・浅利(2019)、土居・浅利(2020)の書籍や山形県、新潟県、宮崎県等の都道府県が公表している産業連関表に関する解説等を参照。

¹⁷ 総務省『家計調査』「都市階級・地方・都道府県庁所在市別 1 世帯当たり 1 か月間の収入と支出」より、徳島市の 2017 年から 2022 年までの勤労世帯の平均消費性向を計算したところ、その平均値は 0.659 であった。また、県内全体の消費性向を考えるうえで、四国地方の県庁所在地の高松市(0.649)、松山市(0.650)、高知市(0.652)の平均消費性向についても同様に算出したところ、0.65 前後であったことから、四国地方を代表する平均消費性向として、本推計では 0.65 を採用した。

¹⁸ 新潟県「地域経済・産業分析レポート'12」等を参照。

図表 2-1. 経済波及効果のフロー（詳細）



2-2. 就業機会誘発数と雇用機会誘発数

就業機会誘発数と雇用機会誘発数は産業連関表の「雇用表」より、以下の定義によって部門別に算出される。図表 2-2 には、「徳島県産業連関表」の「雇用表」から得られる産業別の係数を示している。

$$\text{就業機会誘発数} = \text{生産誘発額} \times \text{就業係数} \quad [1]$$

$$\text{雇用機会誘発数} = \text{生産誘発額} \times \text{雇用係数} \quad [2]$$

ここで、就業係数と雇用係数の定義は以下の通りである。

$$\text{就業係数 (人/百万円)} = \text{従業者総数} / \text{県内生産額} \quad [3]$$

$$\text{雇用係数 (人/百万円)} = \text{有給役員雇用者} / \text{県内生産額} \quad [4]$$

従業者総数は、個人事業主、家族従業者、有給役員雇用者から構成されている。有給役員雇用者は有給役員と雇用者に分けられ、さらに、雇用者は、常用雇用者と臨時雇用者（1か月未満の期間を定めて雇用されている者および日々雇用されている者）に分けられ、常用雇用者は、正社員・正職員と正社員・正職員以外（常用雇用者のうち、パートタイマー、アルバイト、契約社員、嘱託またはそれに近い名称で呼ばれている者）からなる¹⁹。

ただし、就業機会誘発数と雇用機会誘発数は、実際に誘発される就業者数や雇用者数ではなく、企業は生産増加には残業を増やしたり、効率性の改善によって対応するため、あくまでも理論値であることには留意が必要である（安田(2008)）。

なお、「徳島県産業連関表」の「雇用表」（37 部門）では、事務用品のデータが欠落しており、従業者総数や有給役員雇用者等の人数および就業係数と雇用係数が得られないため、図表 2-2 では空白としている。

¹⁹ 就業係数、雇用係数や従業者総数等に関する定義や説明は、愛知県産業連関表「第 3 部産業連関表作成概要」等を参照している。

図表 2-2. 「徳島県産業連関表」における就業係数と雇用係数

産業連関表部門分類		(a) 従業者 総数 (人)	(b) 有給役員 雇用者 (人)	(c) 県内 生産額 (百万円)	(a/c) 就業係数 (人/百万円)	(b/c) 雇用係数 (人/百万円)
01	農林漁業	50,647	4,273	146,748	0.3451	0.0291
06	鉱業	313	296	2,625	0.1192	0.1128
11	飲食料品	10,900	9,383	226,605	0.0481	0.0414
15	繊維製品	2,899	2,260	33,073	0.0877	0.0683
16	パルプ・紙・木製品	8,198	6,684	179,566	0.0457	0.0372
20	化学製品	6,416	6,410	560,095	0.0115	0.0114
21	石油・石炭製品	174	174	2,260	0.0770	0.0770
22	プラスチック・ゴム製品	3,507	3,411	59,197	0.0592	0.0576
25	窯業・土石製品	1,539	1,465	17,350	0.0887	0.0844
26	鉄鋼	255	249	32,636	0.0078	0.0076
27	非鉄金属	127	39	11	11.5455	3.5455
28	金属製品	3,496	3,157	60,908	0.0574	0.0518
29	はん用機械	3,265	3,192	73,993	0.0441	0.0431
30	生産用機械	3,220	2,964	41,324	0.0779	0.0717
31	業務用機械	465	447	2,590	0.1795	0.1726
32	電子部品	4,717	4,717	283,472	0.0166	0.0166
33	電気機械	2,997	2,973	31,006	0.0967	0.0959
34	情報通信機器	170	166	835	0.2036	0.1988
35	輸送機械	2,442	1,829	15,339	0.1592	0.1192
39	その他の製造工業製品	3,608	2,650	38,812	0.0930	0.0683
41	建設	31,927	26,234	294,624	0.1084	0.0890
46	電力・ガス・熱供給	1,447	1,447	266,796	0.0054	0.0054
47	水道	230	230	16,824	0.0137	0.0137
48	廃棄物処理	3,743	3,596	29,930	0.1251	0.1201
51	商業	58,569	49,477	372,753	0.1571	0.1327
53	金融・保険	9,764	9,176	146,472	0.0667	0.0626
55	不動産	4,575	2,985	352,306	0.0130	0.0085
57	運輸・郵便	17,019	16,223	268,934	0.0633	0.0603
59	情報通信	4,854	3,277	145,059	0.0335	0.0226
61	公務	15,312	15,312	270,130	0.0567	0.0567
63	教育・研究	18,533	18,460	241,066	0.0769	0.0766
64	医療・福祉	56,865	55,107	476,949	0.1192	0.1155
65	他に分類されない会員制団体	4,796	4,451	35,865	0.1337	0.1241
66	対事業所サービス	30,790	23,860	151,974	0.2026	0.1570
67	対個人サービス	44,809	33,915	173,251	0.2586	0.1958
68	事務用品			7,647		
69	分類不明	37	37	23,521	0.0016	0.0016
	合計	412,625	320,526	5,082,546		

出所：徳島県産業連関表「雇用表」より作成。

用語説明

総務省「産業連関表で用いる主な用語の解説」等を参考にしている。

用語	説明
移輸入率	県内需要を満たすための生産がどれだけ他県に依存しているかを示しており、産業連関表の移輸入の絶対値を県内需要合計で割ることで部門ごとに算出される。自給率は1-移輸入係数によって算出される。
逆行列係数	ある部門に対して新たな最終需要が1単位発生した場合に、各部門の生産がどれだけ必要となるかという生産波及の大きさを示す係数
県内生産額	$\text{県内生産額} = \text{中間投入} + \text{粗付加価値}$ $\text{県内生産額} = \text{中間需要} + \text{最終需要} - \text{輸移入}$ 上記の通り定義される。産業連関表の列と行のそれぞれの合計が県内生産額である。つまり、列方向に見れば、生産に用いられた原材料（中間投入）と生産活動で新たに生み出された粗付加価値の合計であり、行方向に見れば、県内生産額に対する県内外需要から、移輸入（県内の需要を満たすために県外から生産物の購額）控除したもの。
最終需要	生産された（飲食や土産、交通、宿泊等の）財・サービスが阿波おどりの来場者によって（最終段階として）消費・購入されたり、企業等によって生産・提供される阿波おどりのためのサービス（会場設営や警備、チケット販売等）を主催者が購入すること
粗付加価値	各部門の生産活動によって生み出された付加価値であり、雇用者所得などが含まれる
中間需要	財・サービスを、他の財・サービスを生産するための原材料等として産出（＝販売）すること
中間投入	財・サービスを生産するうえで必要とされる原材料等（財・サービス）を、他の部門から投入（購入）すること
投入係数	（産業連関表の）中間需要の列部門ごとに、原材料等の投入額を当該部門の生産額で除して得られる係数のこと
波及効果	最終需要が新たに発生することにより、自産業や他産業の生産活動に与える効果のこと

参考文献

小長谷一之・前川知史編(2012)『経済効果入門』日本評論社

土居英二・浅利一郎・中野親徳編著(2019)『はじめよう地域産業連関分析 基礎編』[改訂版]日本評論社

土居英二・浅利一郎・中野親徳編著(2020)『はじめよう地域産業連関分析 事例分析編』[改訂版]日本評論社

安田秀穂(2008)『自治体の経済波及効果の算出』学陽書房

愛知県「平成27年(2015年)愛知県産業連関表」

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/io2015.html> : 確認日 2024年3月7日)

島根県「波及効果分析ツール」

(<https://pref.shimane-toukei.jp/index.php?view=21596> : 確認日 2024年3月7日)

総務省「令和2年国勢調査」

(<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200521&tstat=000001136464> : 確認日 2024年3月7日)

総務省「平成27年(2015年)産業連関表」

(https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/015index.html : 確認日 2024年3月7日)

総務省「産業連関表で用いる主な用語の解説」

(https://www.soumu.go.jp/main_content/000345859.pdf : 確認日 2024年3月7日)

総務省『家計調査』

(<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200561&tstat=000000330001> : 確認日 2024年3月7日)

徳島県「平成27年(2015年)徳島県産業連関表」

(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/statistics/year/io/> : 確認日 2024年3月7日)

新潟県「産業連関表利用の手引き」

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/tokei/1193069758596.html> : 確認日 2024年3月7日)

宮崎県「あなたにもできる産業連関分析～簡易分析ファイルによる事例分析～」

(https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/52654/52654_20210119164323-1.pdf : 確認日 2024年3月7日)

山形県みらい企画創造部統計企画課「産業連関分析の手引(経済波及効果分析マニュアル)」

(<https://www.pref.yamagata.jp/documents/1637/tebiki.pdf> : 確認日 2024年3月7日)